

The Pleasure of Browsing

My academic specialty is 19th-20th century Chinese social and economic history, and in my field research is centered on libraries and archives. In the course of my research I have used libraries in Japan, China, Taiwan and the United States. When I first began research work, there were no on-line catalogues and a researcher had to search printed catalogues to locate books, and then travel-often long distances-to read rare books that were available in only one library. The information revolution of the last two decades has radically changed the way historians do research work. Most major libraries now have on-line catalogues and many libraries and archives have made the full-texts of rare books and manuscripts available on line. Using the new VPN service at Sophia, faculty and students can now search the library's collection of on-line journals and databases from home, making it possible to do much research work without entering the library building.

While the digital revolution in information science has made it much easier to locate relevant materials to answer specific research questions, nothing can replace the pleasure of browsing the

Vice President for Academic Exchange
Professor, Faculty of Liberal Arts

Linda Grove



shelves of a library. Sophia was one of the pioneers among university libraries in Japan in opening stack access to all users. Readers can browse the shelves, picking up interesting books and reading a few pages before deciding whether to borrow a book. I often find that as I browse I come across books that I would never have discovered if I had relied only on OPAC searches.

One of my own favorite sections of our library is the new acquisitions section on the first floor near the main entrance. Newly catalogued books are displayed there for a short time before being shelved in the main collection. The new books section is a wonderful place to browse-since at a glance the reader can see a wide-range of newly published books in many languages and fields. Sometimes I find new books in my own field, but more often books to read for pleasure and interest.

I hope that all of our students will come to share the pleasure of browsing in the library.

CONTENTS

1 The Pleasure of Browsing

リンダ・グローブ

学術交流担当副学長/国際教養学部教授

特集

2 自動入館システム導入!

連載

4 文献の探し方 >>1

「テーマについて調べる」

6 レファレンスサービスを使いこなそう

連載

7 図書選定委員お薦めの本

大和田滝恵

全学共通教育委員会図書選定委員/法学部教授

図書館職員 海外研修報告

—ワシントン大学図書館

8 図書館からのお知らせ・図書館豆知識

8月下旬から 自動入館システム導入！

..... 出入口の位置がこれまでと逆になります

中央図書館では、自動入館ゲートの導入など、1階エントランス部分の改修工事を夏期休暇中(8月下旬)に実施する予定です。

自動貸出装置(ABC)^{*1}、OPACコーナー^{*2}

自動貸出装置、OPACコーナーの位置が変わります。

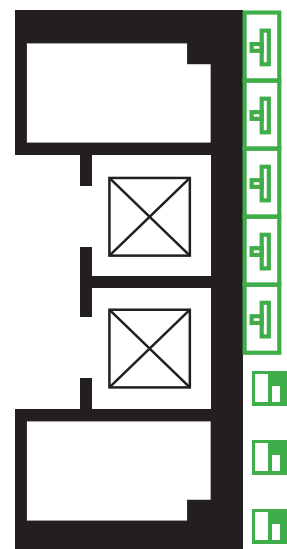


*1 Automatic Book Circulation
*2 Onlie Public Access Catalog

貸出カウンター、受付カウンター

これまで入口受付で行っていたサービスを貸出カウンターと同じ入館ゲート側で行います。

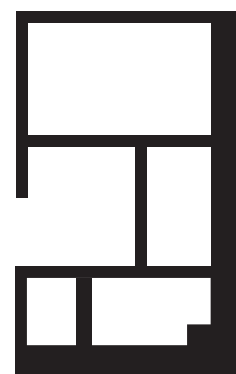
- ・ 図書の貸出、返却 } 貸出カウンター
- ・ リザーブ資料の貸出 }
- ・ 研究室等の鍵の貸出、返却 } ... 受付カウンター
- ・ 利用者カードを忘れた際の入館手続き }



OPAC端末



自動貸出装置(ABC)

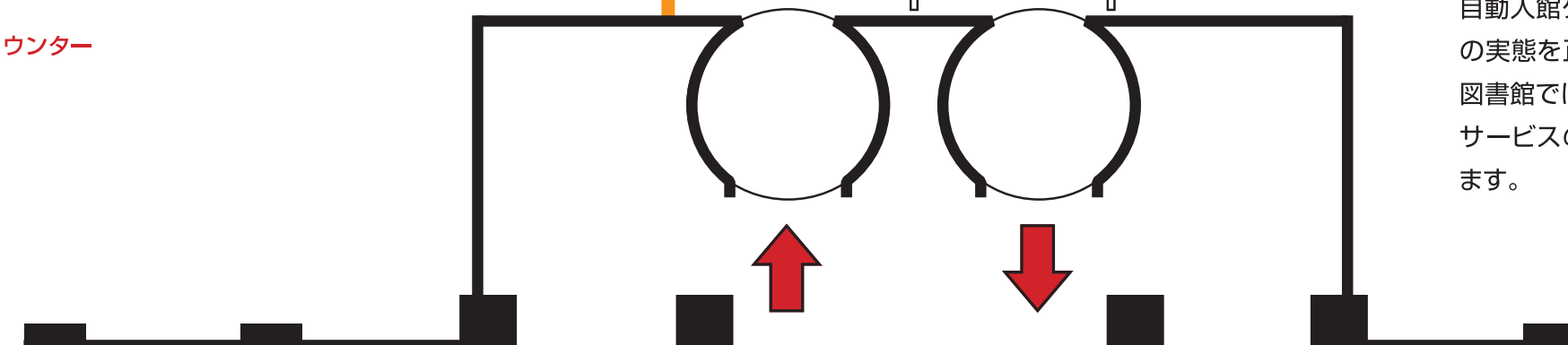


貸出カウンター

受付カウンター

入館ゲート

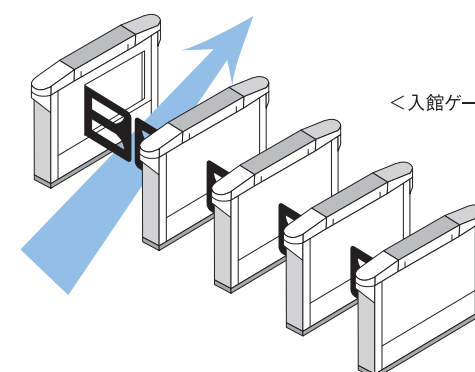
退館ゲート



出入口の位置がこれまでと逆になります

自動入館ゲート

入館の際、身分証明証(学生証、教職員証)・図書館利用者カードをスキャンしていただくことで、ゲートが自動的に開きます。



<入館ゲートのイメージ図>

車椅子、台車が通れるのは4ゲートのうちいちばん左側のゲートです。



利用者カードをスキャンするとゲートが開きます。

図書館の利用資格のない方は原則として入館はできません。利用者カードの携帯をお願いします。なお、有効期限の切れたカード等では入館できません。

退館ゲート

館外貸出未手続の図書等を所持していると警告ブザーが鳴ります。図書館所蔵図書を館外に持ち出す際には貸出手続をすませてください。

ゲートが開かなかった場合などは受付カウンター担当者にお声をおかけください。

自動入館ゲートを導入することで、図書館の利用の実態を正確に把握することが可能となります。図書館では、これらの情報を今後の図書館利用者サービスの向上のために役立てたいと考えています。



文献の探し方 >>1

「テーマ」について調べる

～『地球温暖化』について調べてみよう～

今回はこれを
取り上げます

レポート・論文作成の手順

① 用語を調べ、 テーマを決める

辞書、百科事典、データベース、インターネット情報等により、テーマについて調べましょう。図書・雑誌論文など各種文献を概観し、同一テーマでの研究例などを調べることが大切です。

② 文献(情報)を探す

テーマが決まったら、OPAC(上智大学蔵書検索)、各種データベース、レファレンス資料等を駆使して、テーマに関する文献(情報)を探しましょう。必要に応じて文献リストを作成します。

③ レポート・論文を 執筆する

文献による情報、それ以外の調査データ、アンケート、フィールドワーク(取材)等の客観的事実を踏まえ、レポート・論文を執筆しましょう。

①用語を調べ、テーマを決める

用語を調べるための辞書、事典等には、レファレンス資料(冊子体)や、データベースなどがあります。

ある事柄や言葉について調べるための百科事典・辞書などを「**レファレンス資料(参考図書)**」といいます。レファレンス資料は、学習・研究をはじめとする様々な調査に必要なデータや情報を、一定の体系に従ってコンパクトに収録したもので、調べものをする際に欠かせないツールです。

例)『地球温暖化』について調べてみましょう

A. レファレンス資料(冊子体)等で調べる



▲2階レファレンス資料 Ref/519の棚

図書館には様々な資料がありますが、実際にレポート・論文を書くにあたって、どのような手順で図書館の資料を活用すればよいのでしょうか？皆さんに図書館の資料を有効に使っていただくために、今回からレポート・論文を執筆するために知っておくと便利な「文献の探し方」を連載します。

第1回目は「テーマについて調べる」です。『地球温暖化』というテーマを例にとり、用語の調べ方についてご紹介します。

レファレンス資料は、人文・社会系は1階、理工系は2階にあります。

『地球温暖化』について調べるには、以下のような資料があります。ひとつ事典類を例に挙げれば、

- ・「**環境大事典／吉村進編著**」
日刊工業新聞社,2003.2 (ISBN:4526050571)
Ref2F 請求記号 519.033:Y913
- ・「**地球環境キーワード事典／地球環境研究会編**」
中央法規出版,2003.5 (ISBN:480584468X)
地下2階 請求記号 519:C4415:2003

このほかにも様々なレファレンス資料があります。レファレンス資料のコーナー付近を実際に歩いて、どのようなものがあるか見てみましょう！

B. データベースで調べる

上智大学図書館のホームページ →「データベース検索」のページを参照してください。学内のコンピュータールームから使うことができます。

http://www.sophia.ac.jp/J/lib.nsf/Content/search_top

VPN接続により学外から使うこともできます。VPN接続については、総合メディアセンターのホームページをご覧ください。

総合メディアセンター (VPNサービスについて)

<http://ccweb.cc.sophia.ac.jp/Annai/vpn.html>



▲データベース検索のページ

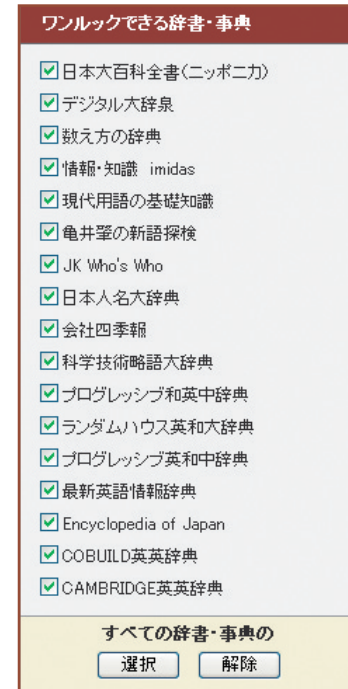
データベース JapanKnowledge (ジャパナレッジ) を使ってみましょう！

JapanKnowledgeは、辞書・事典などを検索できるデータベースです。『日本大百科全書』、『大辞泉』、『現代用語の基礎知識』、英和・和英辞典、時事用語辞典、書誌データ、各種記事、コラム類などを収蔵していて、これらの複数の辞書・事典を横断検索することができます。

上智大学図書館のホームページ

→「データベース検索」→「辞典類、人物情報、文献管理」→「Japanknowledge」

複数の辞書・事典を
横断検索できます



例)「地球温暖化」を検索

辞書・事典類を横断検索すると、11件ヒットしました。このうち、『日本大百科全書』に記載された「地球温暖化」を開いてみると…

語句の説明のほか、右側には関連項目や関連サイトが表示されます。



関連項目

関連サイト

インターネットの情報中には、信憑性に欠ける内容のものもありますので、政府省庁等の信頼できるサイトを利用したり、内容の確かな辞書・事典を使うことが大切です。

文献の探し方、データベースの使い方が分からない場合には、図書館1階レファレンスカウンター(月～金、9:00～17:00)までお越しください。

・レファレンスサービス・を使いこなそう



図書館でお困りのことはありませんか？図書館員があなたのお手伝いをします。どんどん利用して学習や研究の幅を広げてください。
レファレンスカウンターはあなたのお役に立ちます。

サービス時間：月～金 9:00～17:00

OPACって？
資料の探し方??
データベースの使い方??
いろんな？にお答えします



「データベースをうまく使えない…」「卒論・修論作成に便利なツール・方法って何かありますか？」などの質問にお答えします。

上智大学にない
図書・雑誌を
他の図書館から
取り寄せよう
(ILL: InterLibrary Loan)
＜学生・教職員:有料サービス＞



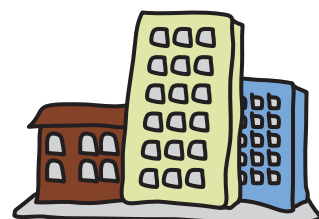
申込用紙（カウンター備付 or ホームページよりダウンロード）に記入し、NACSIS WebCatの検索結果プリントアウトを一緒お持ちください。到着までに約1～2週間お待ちください。

オンラインによる
文献複写の申込
＜教職員専用＞



研究室からオンラインで文献複写が申し込みできます。利用希望の方は利用登録のために一度レファレンスカウンターまでいらしてください。

他の大学の図書館が
利用できることを
知っていますか？
＜学生・教職員対象＞



上智大学図書館に資料がない！そんな時、他大学図書館等を利用することができます。

上智大学からの「紹介状」が必要です。

相手館へ利用の可否を問い合わせた後に紹介状を発行しますので、利用希望日の数日前までにレファレンスカウンターで申し込みを。

本学から近い国立国会図書館・千代田区図書館は紹介状がなくても利用可です。

図書館にない資料の
購入希望が出せます
＜学生限定＞



図書館に所蔵がない。でも図書館にあったらいいのに…。

このような場合、購入希望申込書を出すことができます（ご希望に添えない場合もあることをご了承ください）。申込用紙（カウンター備付）に記入申し込みを！

図書選定委員 推薦めの本 — 全学共通教育委員会図書選定委員/法学部教授 大和田 滝恵



『私は日本のこが好き』
— 外国人54人が語る —
加藤恭子編 出窓社刊

2003年から05年にかけて、中国や韓国で反日感情が高まった。それまで十数年間、不況に喘いでいただけに、近隣諸国から嫌われ孤立感が重なったことで、そのころ日本人は自信を失いかけていた。そんな折、本学でフランス語を教え、定年退職後コミュニティ・カレッジでノンフィクションの書き方を現在も自主講座で教えておられる加藤恭子先生が、文藝春秋特別号の飯沼康司編集長とともに、日本在住経験のある外国人は日本が好きで日本に滞在してきた人が少なくないはずだから、彼らに日本の好き

なところ、日本のいいところや注文を述べてもらって、日本人を励まそうというアイデアを思い付かれた。

当初、52人の外国人へのインタビューが文藝春秋特別号の特集となり、この度新たに2名加わって世界32カ国54人の「外の眼」からの日本へのエールが単行本となって出窓社から出版された。加藤先生は、「外から見た日本の美点に贈る54の花束」と表現されている。まさに、日本を高く評価してくださる多くの知日派外国人から日本人がいただいた日本再発見の言葉の花束である。

読者からは「欠点と思っていたことを別の角度から長所として見直させてくれ、自信と希望がわいてきたような気がした」といった読後感が、また中曽根康弘元首相からは加藤先生に「日本人に大きな自信を回復させること（特に青年、学生に）間違いありません」という感想が寄せられたそうである。

「日本頑張れ、日本人頑張れ」という外国人からの暖かいメッセージを一度手にとってみて、これからの日本を担うエリート青年である本学の学生諸君にも元気を出してもらいたい。

>> 図書館所蔵 学部地下1階
請求記号 302.1:Ka863

図書館職員 海外研修報告 — ワシントン大学図書館 図書館情報サービスチーム 久保 元子

2008年3月にワシントン大学図書館（シアトル）での研修の機会を頂き、アメリカの最新の図書館のサービスについて学んできました。ワシントン大学は、学部生数約3万人、大学院生約1万人、教員・研究者・スタッフ数は約2万5千人の大規模な州立総合大学です。図書館は全22館あり、図書約700万冊、定期刊行物約6万冊、その他多数の資料を所蔵しています。

ワシントン大学図書館では、「ラーニング・コモンズ」という考え方に基いた図書館運営をしています。これは、図書館内に資料や閲覧席を配置するだけでなく、グループ学習室、ライティング&リサーチセンター、数百台のパソコンなどを設置し、図書館内で様々なサービスを受けることができるようにしたものです。

グループ学習室は主要な図書館に約10室ずつあり、プレゼンテーションの練習ができる部屋もあります。図書館内には会話できるフロアもあり、閲覧席では数名のグループでノート型パソコンを使いながら共同学習する姿が数多く見られました。ライティング&リサーチセンターは全米では一般的な施設のように、学部学生がチューター（大学院生の相談員）に、論文の内容構成の方法などを指導してもらう場となっています。また、図書館入口付近にはカフェがあり、学生たちの勉強する姿、くつろぐ姿が見られました。

研修を通して、今後図書館はどう変わるべきかを考える良い機会となりました。上智大学でも取り入れることができるものは実現できるよう、サービスの向上を図りたいと感じました。



グループ学習室



ライティング&リサーチセンター



図書館内に設置されたカフェ

図書館からのお知らせ

夏期休暇中の長期貸出について

夏期休暇に伴い、**7月31日(木)～9月20日(土)**は長期貸出を行います。

対象者：学部生、大学院生、聴講生、社専生、短大生、非常勤教員、館友会員

対象者	貸出日	返却期限
学部生 聴講生、社専生 短大生、館友会員	7月30日(水)～8月30日(土)	10月6日(月)
	9月1日(月)～9月30日(火)	10月14日(火)
大学院生 非常勤教員	7月30日(水)～8月30日(土)	10月6日(月)
	9月1日(月)～9月13日(土)	10月14日(火)

夏期休暇中の開館時間等について

夏期休暇中(**7月31日(木)～9月20日(土)**)は、各図書館の開館時間、各種サービス時間は授業期間中と異なります。サービス時間等は変更になる場合がありますので、詳細は図書館ホームページでご確認ください。

【中央図書館】

サービス時間

開館時間	月～金 … 9:00～18:00 土 … 9:00～17:00
休館日	日、祝日 8月20日(水)～8月26日(火)： 中央図書館総合研究棟工事のため 休館です。

サービス内容	月～金	土
1F 貸出	9:00～18:00	9:00～17:00
2F レファレンス	9:00～17:00	なし
2F 情報検索室・ コンピュータールームL	9:00～18:00	9:00～17:00
3F AV資料室	9:00～17:00	なし
5F 複写サービス室	9:00～17:00	9:00～13:00

【法科大学院図書室】

開室・サービス時間

月～金 … 9:00～20:00 土、日、祝日 … 10:00～18:00
休室日 8月13日(水)～8月19日(火)、9月15日(月・祝)

※8月13日(水)～8月19日(火)は、レファレンスカウンター、AV資料室のサービスはありません。5階複写サービス室は閉室です。セルフコピー機は利用できません。
※情報検索室・コンピュータールームLは夏期休暇中にソフトウェア更新作業が予定され、サービスを休止する期間がありますのでご了承ください。

【石神井分館】

9月の開館日・貸出サービス時間

月～金 … 9:00～17:00
休館日 7月31日(木)～8月31日(日)、9月の土、日、祝日



中央図書館・総合研究棟

東京ドームのグラウンドと中央図書館はどちらが広い？

L号館(中央図書館・総合研究棟)は、地下3階、地上9階の建物です。ここには、図書館のほかに、研究所(室)の図書室および会議室など各種施設がありますが、中央図書館としてのフロアーの延面積は、約19,000㎡です。これは、東京ドームのグラウンド(13,000㎡)約1.5倍になります。



上智大学図書館だより No.2

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL: 03-3238-3510
FAX: 03-3238-3139
発行日 2008年7月10日